

歴史を伝え、地域に貢献

郷土史研究会が総会と放談会

六月二日の午後六時三十分より、古代の里のみせアインの家にて、郷土史研究会(会長野澤哲美)の総会と放談会が開催され、平成十八年度の事業計画などが確認された。

主なものは郷土歴史の探究、学社融合事業の「歴史探検」への講師派遣、郷土資料館への協力、地域イベント等への参加、歴史伝承の紙芝居(絵本)の作成、かわら版の発行など。

このあと、若見遺跡発掘調査担当学芸員時田大二郎氏による発掘を通しての吉前の様子などを学習、また放談会では、会員の減少傾向にあるが、現在の会員(十二名)で、吉前町の歴史を後世にしっかりと伝えていくこと、地域に開連したことは積極的に協力していくことなどを確認した。

(貴方も)郷土史研究会に入ませんか!

「ふるさと吉前」の130年余の歴史を辿ってみると、あなたの知らなかった過去の世界や驚きなど、興味がどんどん湧き奥の深さに引き込まれます。どうぞ貴方も郷土史研究会に入会され、吉前の歴史博士?になってください。

— 入会される方は —

- ◎吉前町公民館(65-4076)か
- ◎野澤哲美(64-2638)へお申込みください。お待ちしております!



郷土資料館の特別展

北の野鳥たち」を開催予定

郷土資料館の今年の特別展は「北の野鳥たち」を夏期間に開催を予定しております。北に棲む野鳥の「はくせい」を一堂に集め、その珍らしい姿や、めったに目にすることのできない貴重な鳥たちを皆さんに観賞していただく企画です。どうぞたくさんの方の来館を、お待ちしております。

後日、開催日程や内容等、教育委員会より皆さんに周知する予定です。



吉前町郷土資料館

今年の台風で倒れた郷土資料館の木製の看板が修復された。郷土史研究会が字に墨を入れ鮮やかに甦り、関係者もホッとしている。看板は6月中旬、道路に面して再建された。

郷土資料館の指導員に宮本アサエさん。五月日オープンした吉前町郷土資料館の指導員に古丹別の宮本アサエさんが担当することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

三毛別ヒグマ事件を絵本に!

くま獅子保会と郷土史研究会で制作委員会を組織し、子どもにわかりやすい「三毛別ヒグマ事件」の絵本製作に取りかかる。絵本は聞き取り調査を皮切りに、絵本づくりのノウハウ講習会に参加し編集作業に取りかかり年内の完成を目指し、デジタル化します。

ふまさと歴史マップは

郷土史研究会が平成十五年に作成した吉前の歴史マップ(無料)が、郷土資料館と吉前町福祉センター、吉前町公民館にあります。ご家族やグループで町内を歴史探訪してみたいいかがですか。

古代の里へどうぞ...

資料館を訪れる人が見落しがちなのが古代の里(資料館裏)縄文・擦文時代の復元住居、アイヌのチセ(家)などがあります。タイムスリップしてください。



「身の毛もよだつ」三毛別ヒグマ事件の復元地へどうぞ。うっそうと生茂る原生林。何一つ物音しない静寂の中、どこからか、何かにゾーンと見られているような雰囲気の中で、あなたはいつまでいるだろうか。三毛別六線沢の惨事がみしむと追ってきます。(古丹別がらみ)

郷土資料館の開館時間と休館日は
午前10時から午後5時まで、ただし入館は午後4時30分までです。月曜日は休館日です。
*7月24日～8月21日までは休館日なし

郷土資料館の入館料は
◎大人(高校生以上)210円
◎小人(小学生以上)100円
◎団体(10人以上)
大人 140円
小人 70円

知のついでに

町民憲章

昭和五十五年(1940年)に吉前町開基百年記念事業の一環として制定されました「町民憲章」を今一度、町民の皆様にも再確認していただければ幸いです。

一心と体をきたえ、元氣ではたらき、活気あふれる豊かなまちをつくりまします。
一 教養をたかめ、視野を広げて北方の風土に根ざした心豊かなふるさつのあるまちをつくりまします。
一 きまわりを守り、たがいに助け合って明るく住みよいまちをつくりまします。
一 未来をつくる若い芽を育て、希望にみちた力みなぎるまちをつくりまします。
一 自然を愛し、環境をこのまきれいなまをつくりまします。